

# 「自己を見つめ、心豊かに 学び合う児童の育成」

～多様な考えを交流させる  
道徳の授業づくりを通して～

# 校内研修計画

## 第1回「全体計画検討会」（4月）

研究主題、日程、組織、研究内容、研究方法等の確認

## 第2回「全体会・班別研修」（5月）

年間指導計画、全体計画、別葉の見直し

## 第3回「演習・講義」（6月）

「魅力ある道徳授業をつくる -ICT機器の活用-」 群馬大学久保教授

## 第4回「提案授業①」（6月）

4年1組 主題名：熱中していても 教材名：やめられない？とまらない？ 内容項目：A-3 節度、節制

## 第5回「全体会」（7月）

道徳の授業についての共通理解

## 第6回「全体会」（8月）

全国小学校道徳教育研究会研修報告

## 第7回「班別研修」（9月）

道徳研究授業検討会①

## 第8回「提案授業②」（10月）

6年1組 主題名：明るく生きる 教材名：手品師 内容項目：A-2 正直、誠実

## 第9回「研究授業」（10月）

4年1組 主題名：相手の気持ちに寄り添って 教材名：ゆうきの心配 内容項目：B-7 親切、思いやり

## 第10回「班別研修」（10月）

道徳研究授業検討会②

## 第11回「要請訪問」（11月）

3年2組 主題名：本当の友達 教材名：なかよしだから 内容項目：B-9 友情、信頼

あゆみ3組 主題名 未来を変える一歩をふみだす 資料名：SING 内容項目：希望と勇気、努力と強い意志

# 第1回「全体計画検討会」

## 研究主題、日程、組織、研究内容、研究方法等の確認

「自己を見つめ、心豊かに学び合う児童の育成」～多様な考えを交流させる道德の授業づくりを通して～

＜これまでの研究成果の確認＞ →今年度の研究に生かす

★基本的な学習過程「玉小スタイル」 めあて→見通し→自力解決→学び合い→まとめ→振り返り

★発問構成の工夫（主発問、基本発問、補助発問等）

★実感を伴う振り返りの工夫

★板書の工夫

☆めあて・振り返りの徹底・充実

☆朝トク

☆家トク

☆読書

☆自己肯定感・自己有用感

流れ	学習過程における指導・発問のポイント
発問	1 学習課題・めあての提示 ◎本時のねらいにかなわる 中心発問 ◎興味・関心をもたせる ◎身の回りや資料から疑問や問いをもたせる ※発問からの流れや子どもの疑問や問いをもとめあてを提示する
見通し	2 見通しをもつための活動 ◎結果の手帳をさせる ◎解決方法についての見通しがもてるようにする ◎既習の学習・方法の確認・学び直しをさせる ◎既習と本時の課題の関連点に気付かせる
自力解決	3 自分で考える活動 ◎自分の発問で自由に問題を解決することを促す ◎自分の考えを補綴を明らかにしながら表現させる ※活動の仕方や考えのまとめ方を指示する ※一人一人を観察・評価し、態に合わせた支援を行う
学び合い	4 学び合う活動 ゴールに向けて多様な学び合い活動を工夫する ◎相違を明確にして自分の考えを説明させる ※説明する場を工夫し、多くの子どもが説明にかなわれるようにする ◎考えをつなぎ合い、練り上げる 「なぜ？」「その理由は？」「どうやったの？」「どういうこと？」「もう一度説明してみて」 「くしくしく説明してくれる？」「○○さんの考えを代わりに説明してくれる？」「つまり？」 「○○さんの考えについてどう思う？」 ※異質な用語を話し、考えを上げたり、深めたりできるようにする ●思考を広げ深める「補助発問」を工夫する 「○○と△△を比べてみよう」「同じ所（共通点）は？」「ちがう所は？」 「この意見の良さは？」「本当にこれでいいの？」「は・か・せ ほかの誰か？」 「ほかの観点ではどうなる？」
まとめ	5 解決したことをまとめる ◎理解したことをまとめる 「この時間でわかったことはどんなことですか？」 ※板書された内容や児童の発言を基としてまとめる ※まとめ が めあての 考えになっている
振り返り	6 本時を振り返り、学んだことを実感する ◎学習方法を振り返り、分かったことを自分の学習で実践させる ◎分かったことを生かして、課題にチャレンジさせる ◎自分の考えの整理や友達から学んだことなどを整理させる

# 道徳教育を推進するにあたって

## ○教育活動全体で進める道徳教育

- ・何をやっても道徳教育
- ・何から手を付けてよいか分からないのも道徳教育  
→できることから意識してやってみる

## ○道徳教育の要となる道徳科の授業

「考え議論する道徳」

→多様な考えを交流させる道徳の授業づくり

# 教育活動全体で進める道徳教育

# 教育活動全体で進める道徳教育

学校行事とのかかわりで

## 第37回 佐波郡小学校水泳通信記録会の実施について

令和4年6月6日

職員会議資料

1. 目的 記録測定を通して、参加児童の泳力の向上を図るとともに、水泳に興味を持つ児童を育てる。  
《道徳教育との関わり》 A-個性の伸長
2. 対象 5・6年生の希望者
3. 日時 7月21日(木) 時間 9:00～ 予備日22日(金)

10/17(月) 職員会議資料

## 令和4年度 玉小音楽祭について

1. ねらい 音楽を発表する場を設けることで、目標を持って音楽活動に取り組む。  
友達と協力して音楽表現を工夫し、音楽を味わって聴く。  
〔道徳的価値〕 D 感動、畏敬の念
2. 期 日 令和4年11月21日(月)～12月末頃まで : 給食の時間にビデオ放送
3. 場 所 各教室・音楽室



# 教育活動全体で進める道徳教育

家庭を巻き込んで

R4. 10. 29

## クローバー NO. 24

### 道徳「あいさつっていいな」

人はなぜあいさつをするのでしょうか？あいさつをするとどんなよいことがあるのでしょうか？先日の道徳では、普段当たり前に行っている「あいさつ」について考える授業を行いました。子ども達は、授業を始める前、なんとなくあいさつをするよさを分かっていたようですが、授業を進めていく中であいさつすることのよさが明確になっていったように感じました。道徳で学んだことが心の片隅に残り、日常生活の中で実践していける子になってくれたら嬉しいです。下の図は、当日の授業の流れをまとめたものです。

#### 授業を始める前の子ども達の考え

**いつもあいさつをしていますか？**

- ・だれにでもできているよ！
- ・先生には挨拶をするけど、友だちやお家の人にはあまりしないな。
- ・朝起きたときはねむいから、お家の人にはあいさつをしないな。

**あいさつをするとどんないいことがありますか？**

- ・気持ちよくなる。
- ・楽しくなる。
- ・元気になる。

教科書「あいさつっていいな」を読んで、あいさつをするよさについて、みんなで意見を出し合っ、考えを深めました。



#### 授業後半の子ども達の考え

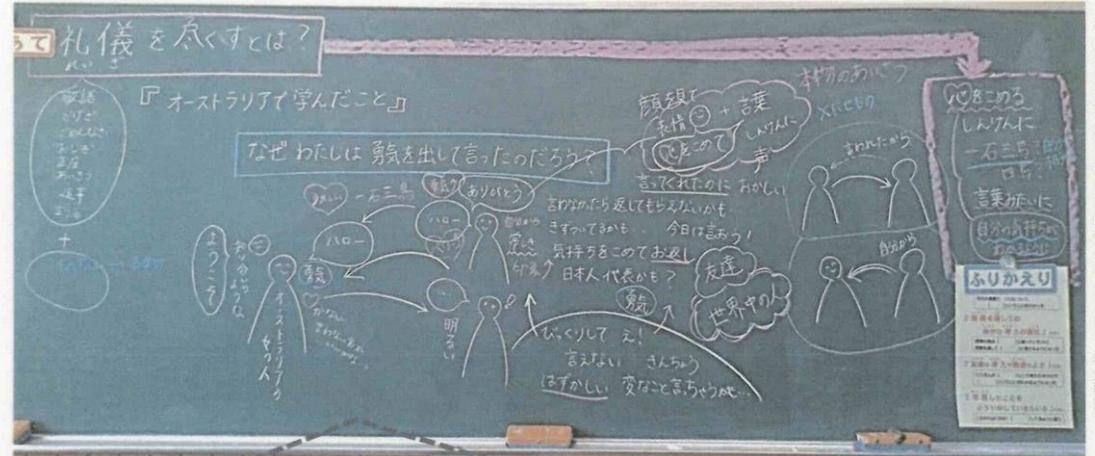
**あいさつをするとどんないいことがありますか？**

- ・あいさつをすると、自分もいい気持ちだし、言われた方もいい気持ちになる。
- ・あいさつをするのも大切だけど、あいさつをかえてあげることも大切だと思う。そうするといい気持ちがかえってくる。
- ・あいさつの「あい」は「愛」だと思う。その愛を伝えられる。
- ・元気なあいさつを聞いた周りの人も元気にできる。
- ・友だちともっとなかよくなれる。

#### 授業のおわり 子どものふりかえり(ノートから)

**授業の最後に、今日の学習で自分が思ったことをふりかえりましょう。**

- ・あいさつをすると、まわりの人もほんのうしてくるから、元気にあいさつをした方がいいなと思いました。
- ・今度からは、教室へ入ったとき、みんなにあいさつをしたいです！
- ・これからはみんなに元気な声で言いたい。なぜなら、はじめて会った人でも友だちになりたいからです。
- ・わたしもあいさつを大きな声で言いたい。明日の朝からはじめます！ などなど...



今週の道徳  
礼儀を尽くすとは？

最初、「あいさつ」や「おじぎ」、「返事」などを「礼儀」として考えていたみんなですが、話し合いを経て、「心をこめる」「うそのない心→本物の心」「相手に自分の言葉を伝えるように」が「礼儀を尽くすこと」という考えにまとまりました。道徳は不正解がないので誰でも活躍できるし、教師の方もいろいろなことに気づかされたり、教えてもらったり、子どもに教えられることが多い感じがして、私は好きです。授業の詳しい内容は、ここでは書き切れないので、ぜひお子さんに聞いてみると、いろいろ説明してくれると思います③

学級通信より抜粋  
道徳科の授業の様子を学級通信で紹介

# 教育活動全体で進める道徳教育

さまざまな教育活動で

委員会活動

たてわり活動

総合的な学習の時間

教室の掲示・・・

子どもの主体的な活動を通して、心情を育てる





# 道徳教育の要となる道徳科の授業

～多様な考えを交流させる道徳の授業～

# 学習指導要領・はばたく群馬の指導プランⅡ等の確認

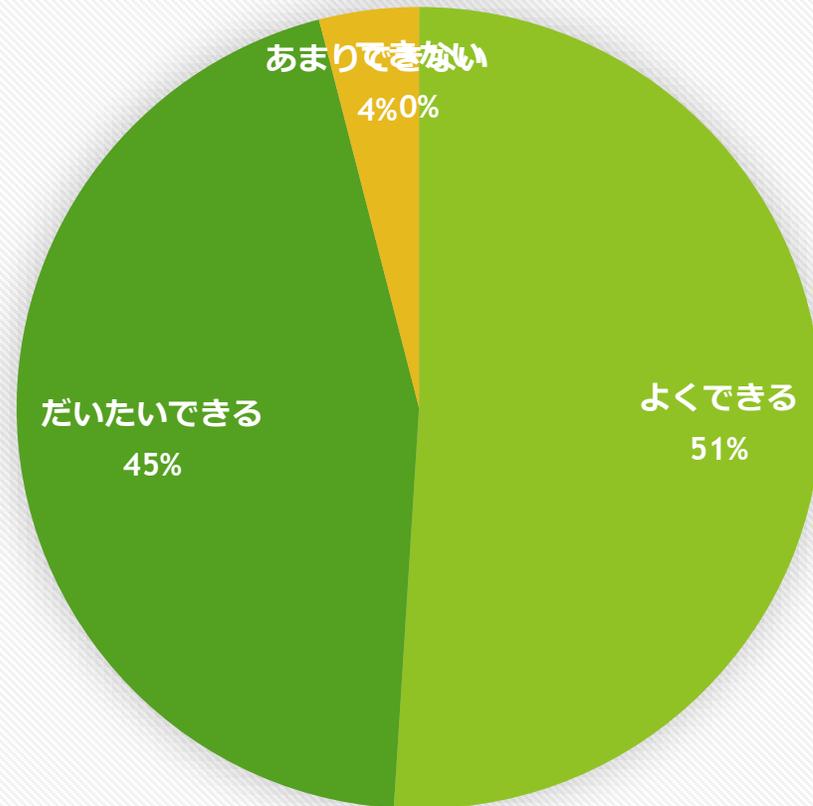


# 道徳アンケートの実施・分析

- 1 あなたは、道徳の時間に 自分のことについて かんがえることができますか。
- 2 あなたは、道徳の時間に 考えたことを 発言することができますか。
- 3 あなたは、道徳の時間に 友だちの考えを聞いて はっとしたり、なるほどと 思ったりしたことがありますか。
- 4 あなたは、道徳の時間に学習したことを 道徳以外の教科の学習をしているときに 思い出すことがありますか。
- 5 あなたは、道徳の時間に学習したことを 行事や委員会活動など 学習以外の活動で 思い出すことがありますか。
- 6 あなたは、道徳の時間に学習したことを 家の人に話すことがありますか。
- 7 あなたは、道徳の時間に学習したことが ためになると思いますか。

# 1 あなたは、道徳の時間に 自分のことについて かんがえることができますか。

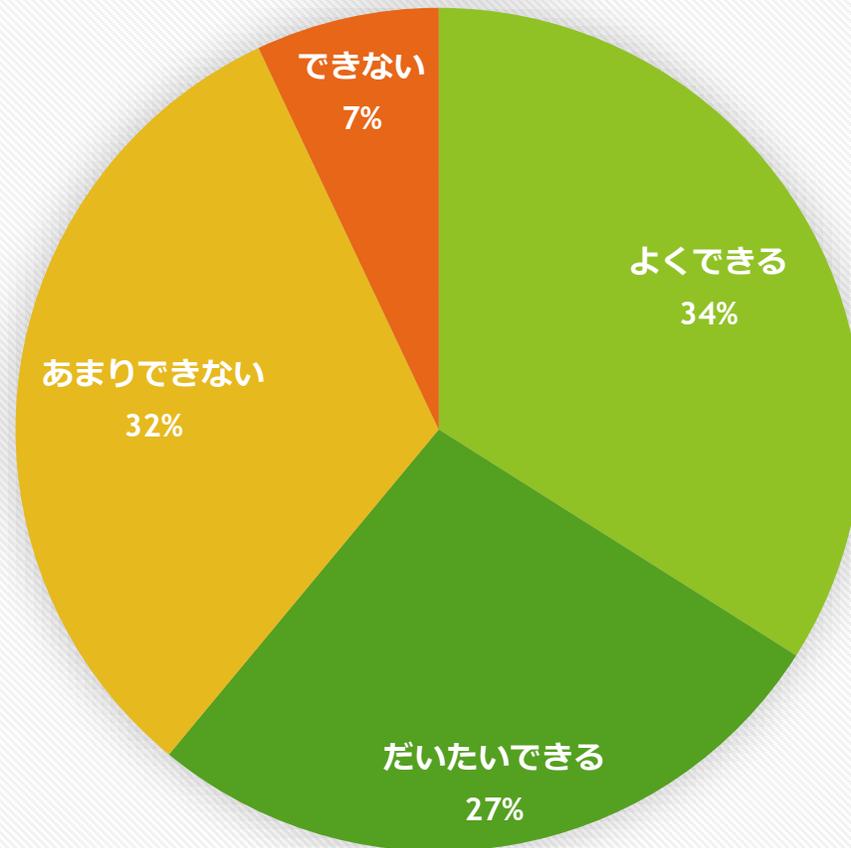
考えること



■よくできる ■だいたいできる ■あまりできない ■できない

## 2 あなたは、道徳の時間に 考えたことを 発言することができますか。

発言すること

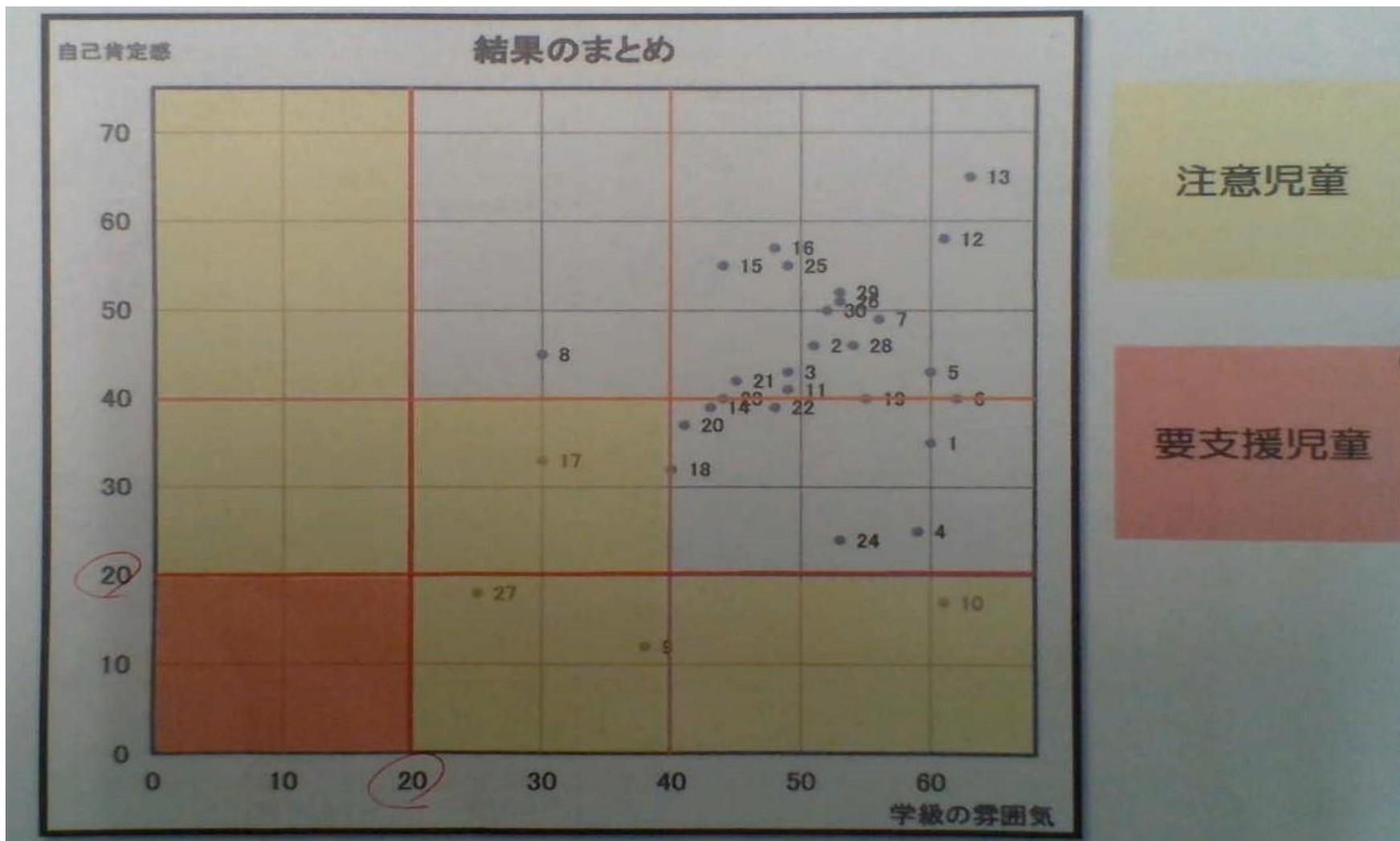


■よくできる ■だいたいできる ■あまりできない ■できない

# C&Sの実施

← 自分の考えを発表できる学級（授業の前提条件）

- ☆ 「集団」と「個」の両方から実態を把握
- ☆ 「自己肯定感」「学級の雰囲気」の結果を確認し、学級経営に生かす



# 第3回「演習・講義」

「魅力ある道徳授業をつくる -ICT機器の活用-」 群馬大学久保教授



# 第4回「提案授業」

4年 主題名：熱中していても

教材名：やめられない？とまらない？

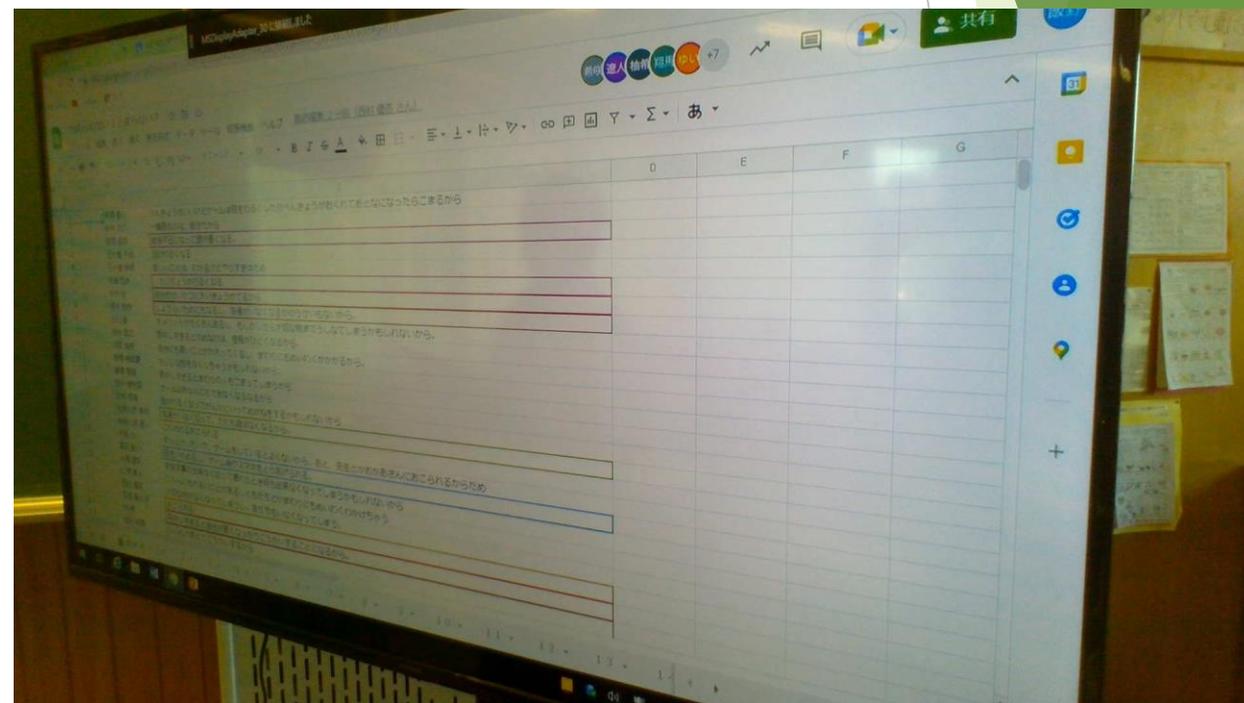
内容項目：A-3 節度、節制



4年 主題名：熱中していても  
教材名：やめられない？とまらない？ 内容項目：A-3 節度、節制



4年 主題名：熱中していても  
教材名：やめられない？とまらない？ 内容項目：A-3 節度、節制



# 第5回「全体会」

## 道徳の授業についての共通理解

### ▶ 授業の基本的な流れ

#### ○導入（5分以内）

- 1.本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。

#### ※ICTの活用

#### ○展開

- 2.教材文の範読を聞く。（5分）→宿題で読ませてきてもよい
- 3.教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。

（15分）

基本発問、中心発問、補助発問

※ ペア活動等

ここまでで22.5分

## 教材から離れる（22. 5分）

4. 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。（10分～15分）

※ここが大事！この時間を十分にとりましょう！

### ○終末（5分）

5. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

※考える時間、書く時間をとる。発表は数名でよい場合によっては宿題でもよい

# 大事なこと（キーワード）

☆ **ペア活動**をたくさん取り入れる・・・聞き手の学びになる

☆ **傾聴一語る**

☆ **22.5分**・・・教材から離れる

☆ **ICTの活用**・・・導入のアンケート等

☆ 教師の求める大きな変容が見られなくてもよい  
**考え、議論する過程を見取る**

→ **考える場面、比べる場面の設定**

☆ **はばプラⅡ「実践事例」**の活用

☆ **学習指導要領**で内容項目の確認

# 第6回「全体会」

## 全国小学校道徳教育研究会研修報告

### ▶ 授業実践発表から

- ① 概念的・知識で終わらないように
- ② 自己（考え・人生）を**見つめ直す**時間
- ③ 「行動」ではなく、「**それを支える心**」について考える
- ④ **学級づくり**が土台になる
- ⑤ **学習指導要領**を読み直しましょう
- ⑥ 子どもが気づいてない部分に気づかせてあげる

## 第6回「全体会」

### 全国小学校道徳教育研究会研修報告

▶ 自己の生き方についての考えを深める授業構想

☆ 道徳性は授業だけでなく、**日々の生活を通して養われる**

☆ 行事・イベント等、日頃から**計画的に指導**する

☆ 理解→自覚・体験・行動→理解（次につながるように）

☆ 議論を通して、**多面的・多角的**に考える

☆ **自己（人間として）の生き方**について考えを深める

☆ 道徳の評価は「魚拓」をとる

# 第7回「ブロック別研修」 道徳研究授業検討会



# 第7回「ブロック別研修」 道徳研究授業検討会



# 第8回「提案授業」

6年 主題名：明るく生きる

教材名：手品師

内容項目：A-2 正直、誠実



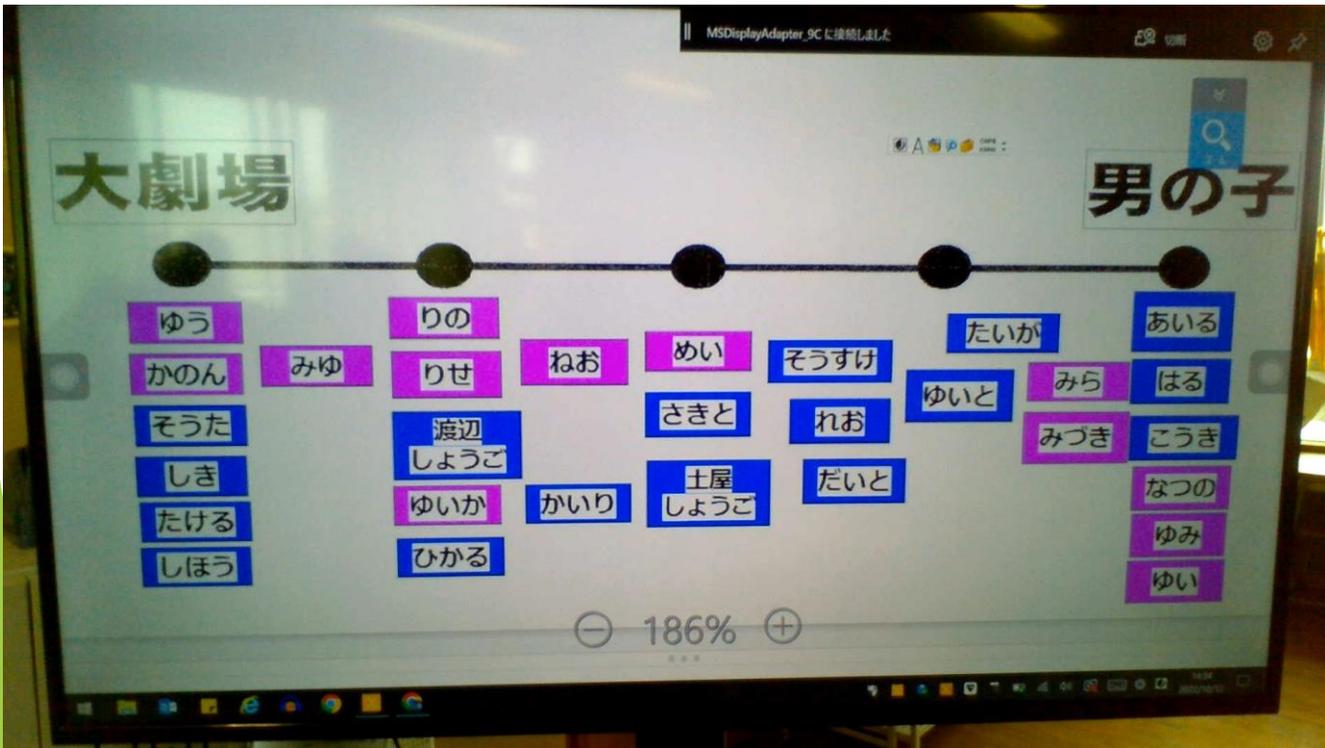
6年 主題名：明るく生きる  
内容項目：A-2 正直、誠実

教材名：手品師



6年 主題名：明るく生きる  
内容項目：A-2 正直、誠実

教材名：手品師



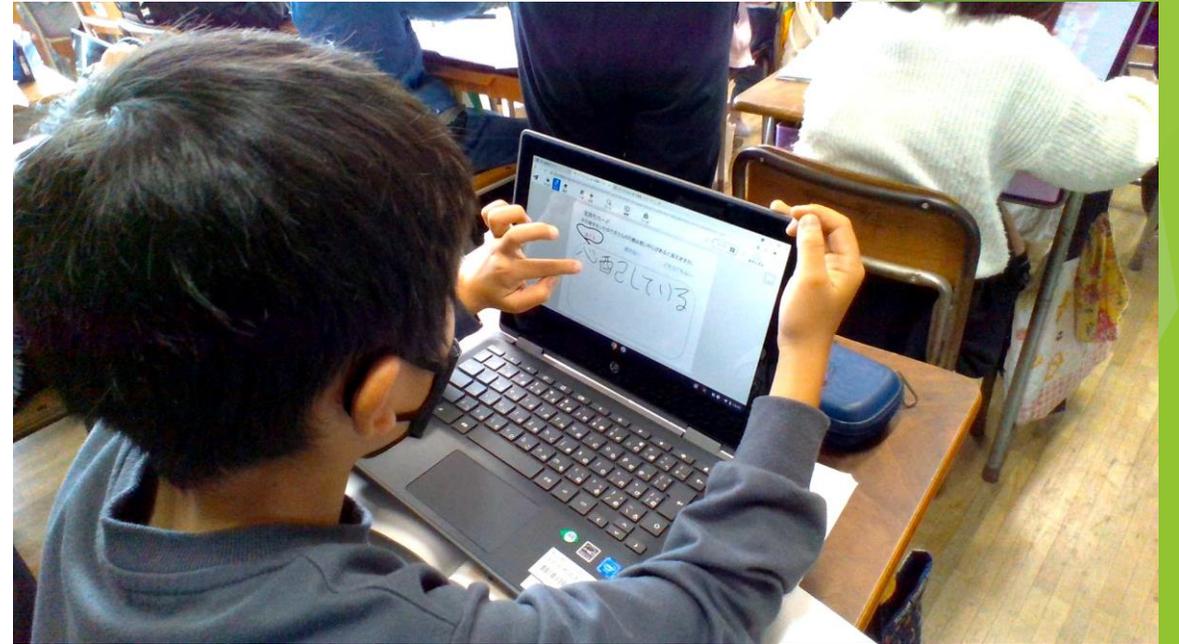
提案授業から学んだこと（生かしていきたいこと）

- ▶ 「考え、議論する道徳」の目指す子どもの姿があらわれていたこと
- ▶ 教師の問う姿勢、きく姿勢、決断を迫り、一緒に考える姿勢や教師のメッセージ性
- ▶ 全て自我関与の発問であること
- ▶ テーマ課題→教材課題への焦点化→テーマ課題
- ▶ 4 5 分間の有効利用
- ▶ キーワードで対比、見やすい板書
- ▶ 子ども鍛え、しつけ、最高学年としての自覚

# 第9回「研究授業」

4年 主題名：相手の気持ちに寄り添って 教材名：ゆうきの心配

内容項目：B-7 親切、思いやり



4年 主題名：相手の気持ちに寄り添って 教材名：ゆうきの心配  
内容項目：B-7 親切、思いやり





# 授業から学んだこと（生かしていきたいこと）

- ▶ 授業の柱を整理し、じっくり考える時間を確保
- ▶ 自分の考えを書くこと、ICTの活用について、日々子どもを鍛えている
- ▶ 「相手の気持ちを考える」→さらに掘り下げて「相手を知る、絆が深まる」と問いた点

# 第10回「ブロック別研修」 道徳研究授業検討会②



# 第11回 要請訪問 研究授業

3年 主題名：本当の友達

教材名：なかよしだから

内容項目：B-9 友情、信頼



特別支援学級

主題名：未来を変える一歩をふみだす

資料名：S I N G 内容項目：A-5

希望と勇気、努力と強い意志



# 本日 研究指定校研究発表会

授業・授業研究会 いかがでしたでしょうか？

今後・・・成果と課題の検討・共有

教師も子どもも楽しんで道徳科の授業に取り組む